江戸滑稽化物尽くし

アダム・カバット
adam kabat

常州大学図書館
藏書章

江戸滑稽化物尽くし

アダム・カバット

講談社学術文庫

アダム・カバット（Adam Kabat）

1954年，米国・ニューヨーク市生まれ。ウエスレアン大学卒業，東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化専攻博士課程中退。武蔵大学教授。専攻は近世・近代日本文学（幻想文学），日本の妖怪。著書に『大江戸化物図譜』『妖怪草紙　くずし字入門』『もものがあ対見越入道　江戸の化物たち』，編著に『江戸化物草紙』『大江戸化物細見』などがある。

講談社学術文庫

定価はカバーに表示してあります。

江戸滑稽化物尽くし（えどこつけいばけものづ）

アダム・カバット

2011年8月10日　第1刷発行

発行者　鈴木　哲
発行所　株式会社講談社
東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001
電話　編集部（03）5395-3512
販売部（03）5395-5817
業務部（03）5395-3615
装　幀　蟹江征治
印　刷　株式会社廣済堂
製　本　株式会社国宝社
本文データ制作　講談社デジタル製作部

© Adam Kabat　2011　Printed in Japan

落丁本・乱丁本は，購入書店名を明記のうえ，小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取替えします。なお，この本についてのお問い合わせは学術図書第一出版部学術文庫宛にお願いいたします。
本書のコピー，スキャン，デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。Ⓡ〈日本複写権センター委託出版物〉

ISBN978-4-06-292068-1

目次

江戸滑稽化物尽くし

プロローグ　化物との出会い……9
第一章　滑稽な化物たち……21
1　商品としての化物　21
2　怖さが笑いに変わるとき　65
第二章　アウトサイダーとしての化物……90
1　野暮になった化物たち　90
2　江戸の「通」と化物　103
第三章　化物の「異文化」と諷刺……125
1　異文化と現実の世界　125
2　諷刺としての化物　147
第四章　江戸の不思議な異類……180

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

1　さまざまな異国　180
2　異類合戦物　215
エピローグ　化物は国境を越える……243
参考文献……250
原本あとがき……254
文庫版あとがき……257
解　説……佐藤至子……261

江戸滑稽化物尽くし

アダム・カバット

講談社学術文庫

目次

江戸滑稽化物尽くし

プロローグ　化物との出会い……9
第一章　滑稽な化物たち……21
1　商品としての化物　21
2　怖さが笑いに変わるとき　65
第二章　アウトサイダーとしての化物……90
1　野暮になった化物たち　90
2　江戸の「通」と化物　103
第三章　化物の「異文化」と諷刺……125
1　異文化と現実の世界　125
2　諷刺としての化物　147
第四章　江戸の不思議な異類……180

1　さまざまな異国　180
2　異類合戦物　215
エピローグ　化物は国境を越える……243
参考文献……250
原本あとがき……254
文庫版あとがき……257
解　説……佐藤至子……261

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

江戸滑稽化物尽くし

プロローグ　化物との出会い

ドラえもん、Q太郎に夢中

江戸時代の中期から後期にかけて「化物（ばけもの）」と呼ばれる不思議なモノが大変流行していた。なかでも人びとを楽しませる、滑稽な化物はとりわけ人気を集めた。絵本や浮世絵にあらわれた化物たちの不思議な外見はとてもユーモラスだった。しかも、その当時の江戸を舞台にして、化物たちがおかしな行動をするという新しいタイプの話が多かった。江戸の化物は、その時代に生きていた人びとの好みに合わせて作り上げられたからこそ、人気を集めたといえる。

この滑稽な化物に私が関心をもつようになったのは、およそ一〇年ほど前のことである。もちろん、それ以前にも日本の妖怪についてある程度の知識はもっていたが、これはあくまでも日本で生活しているうちに、いつのまにか覚えたものばかりである。

アメリカの大学で学んでいたころ、中国からアメリカに来ていた留学生の友人が、ドナルド・ダックのアニメが大好きで、一緒に見ないかとよく誘われたことがあった。そのときは、「あんなものは大人が見るものではない」ときっぱりと断ってしまった。しかし、自分

が日本に留学してみると、「ドラえもん」や「オバケのQ太郎」に熱中した。ドナルド・ダックにしても、ドラえもんにしても、ともに子ども向けのキャラクターであるが、じつはこうしたところにこそ、その国の文化の基礎的な部分が立ちあらわれることがあるのかもしれない。

一般的に、日本の子ども向けのアニメに登場する「お化け」には、間が抜けていて、ドジなキャラクターが多い。怖い印象はそれほど与えない。格好は無様（ぶざま）だが、どこかに愛嬌がある。このような「キャラクター妖怪」は日本にかぎらない、現代社会の普遍的な産物なのか、それとも日本固有の伝統を受け継いでいるものなのか。私はその原点を探りたくなって、妖怪の世界に足を踏み入れたのである。

親しみやすい妖怪たち

そうしてみると、妖怪と呼ばれるものは子どもの世界だけにとどまっているのではないことに気がついた。たとえば、妖怪の大物ともいうべき河童（かっぱ）は、美しい日本の河川を取り戻そう、という環境問題のシンボル的存在となっている一方で、お下劣なギャグ漫画の主人公となっていたり、お酒の宣伝などでは色っぽい姿を見せたりしているのである。「河童連邦共和国」という、大人たちによる組織さえもある。

また、新しい妖怪キャラクターにも、伝統的なものが多くふくまれていることに驚いた。

たとえば、妖怪の研究と創作を同時進行でおこなってきた水木しげるの妖怪キャラクターにも、じつは江戸時代の化物の面影が強く感じられるものが少なくない。水木は、自分が生きている時代に合わせて、古い妖怪に新しい要素を多く入れている。「ゲゲゲの鬼太郎」は、近代的な価値観（環境問題）を背負った正義の味方であるが、鬼太郎自身のデフォルメされた外見やアウトサイダーとしての立場は、むしろ江戸時代の妖怪と通じる。妖怪は想像上のものだからこそ、創作者は伝統的な妖怪の形や意味を自由自在に変えられるのである。

そうして、日本の妖怪に少しばかりはまってしまうと、まだ知られていないマイナーな妖怪も山ほどあることに気づかされることとなった。研究者たちによって作られた「怪異・妖怪伝承データベース」を見ると、わかってもらえるかと思うが、日本の妖怪の種類をすべて収録するには、相当な努力が必要である。

数多くある日本の妖怪の総括的な特徴をひと言でいうのは簡単ではないが、一ついえるのは、偉大なる妖怪、あるいは神秘的な妖怪よりも、庶民的な妖怪が圧倒的に多いことである。その反面、西洋の文化が生みだした、紳士の吸血鬼ドラキュラや可憐で美しい人魚姫といった、気高（けだか）い妖怪はきわめて少ない。女の尻を触りたがるいたずらっぽい河童。日常道具が擬人化された陽気な傘や提灯（ちょうちん）。なにかを届けに来る一つ目小僧。いずれも身近に感じられる親しみやすい妖怪ばかりである。あの冷たい雪女さえもどこか庶民的な印象を与えている。当然ながら、親しみやすい妖怪は「商品化」または「キャラクター化」されやすいもの

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com